

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月14日

計画の名称	最上川流域における美しい暮らしと水循環の実現												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	山形県												
計画の目標	下水道の整備推進により、県民の快適な暮らしを支えるとともに、母なる川「最上川」を基軸とした美しい県土を次世代に伝える。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,295	A	1,295	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	関連市町村との協調により、県内の下水道人口普及率を、77.0%(R2当初)から79.0%(R6末)に増加させる。 下水道処理人口普及率(%) 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	77%	78%	79%
2	消化ガスの有効利用率を、63.1%(R2当初)から91.8%(R6末)に増加させる。 消化ガス有効利用率(%) 消化ガス有効利用量(Nm3)/消化ガス発生量(Nm3)	63%	63%	84%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	山形県	直接	山形県	終末処理場	新設	山形浄化センター	汚泥脱水設備等	天童市						292		-	
	A07-002	下水道	一般	山形県	直接	山形県	終末処理場	新設	山形浄化センター	消化ガス発電設備等	天童市						150		-	
	A07-003	下水道	一般	山形県	直接	山形県	終末処理場	-	施設計画の見直し	効率的事業計画策定	山形市・天童市 ・上市市・山辺町・中山町						11		-	
A07-004	下水道	一般	山形県	直接	山形県	終末処理場	-	施設計画の見直し	効率的事業計画策定	山形市・天童市 ・上市市・山辺町・中山町						10		-		
A07-005	下水道	一般	山形県	直接	山形県	管渠（汚水）	新設	尾花沢大石田幹線	硫化水素対策	村山市・大石田町						135		-		
A07-006	下水道	一般	山形県	直接	山形県	終末処理場	-	施設計画の見直し	効率的事業計画策定	村山市・東根市 ・河北町・尾花沢市・大石田町						20		-		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	山形県	直接	山形県	終末処理場	-	施設計画の見直し	効率的事業計画策定	南陽市・高畠町 ・川西町						15	-	
	A07-008	下水道	一般	山形県	直接	山形県	管渠（汚水）	新設	（仮）松山幹線	管路施設整備 L=3.7km	酒田市・鶴岡市 ・庄内町・三川町						640	-	
	A07-009	下水道	一般	山形県	直接	山形県	終末処理場	-	施設計画の見直し	効率的事業計画策定	酒田市・鶴岡市 ・庄内町・三川町						22	-	
											小計							1,295	
											合計							1,295	

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6
配分額 (a)	204	36	77	0	25
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	204	36	77	0	25
前年度からの繰越額 (d)	0	77	0	73	
支払済額 (e)	127	113	4	73	
翌年度繰越額 (f)	77	0	73	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	

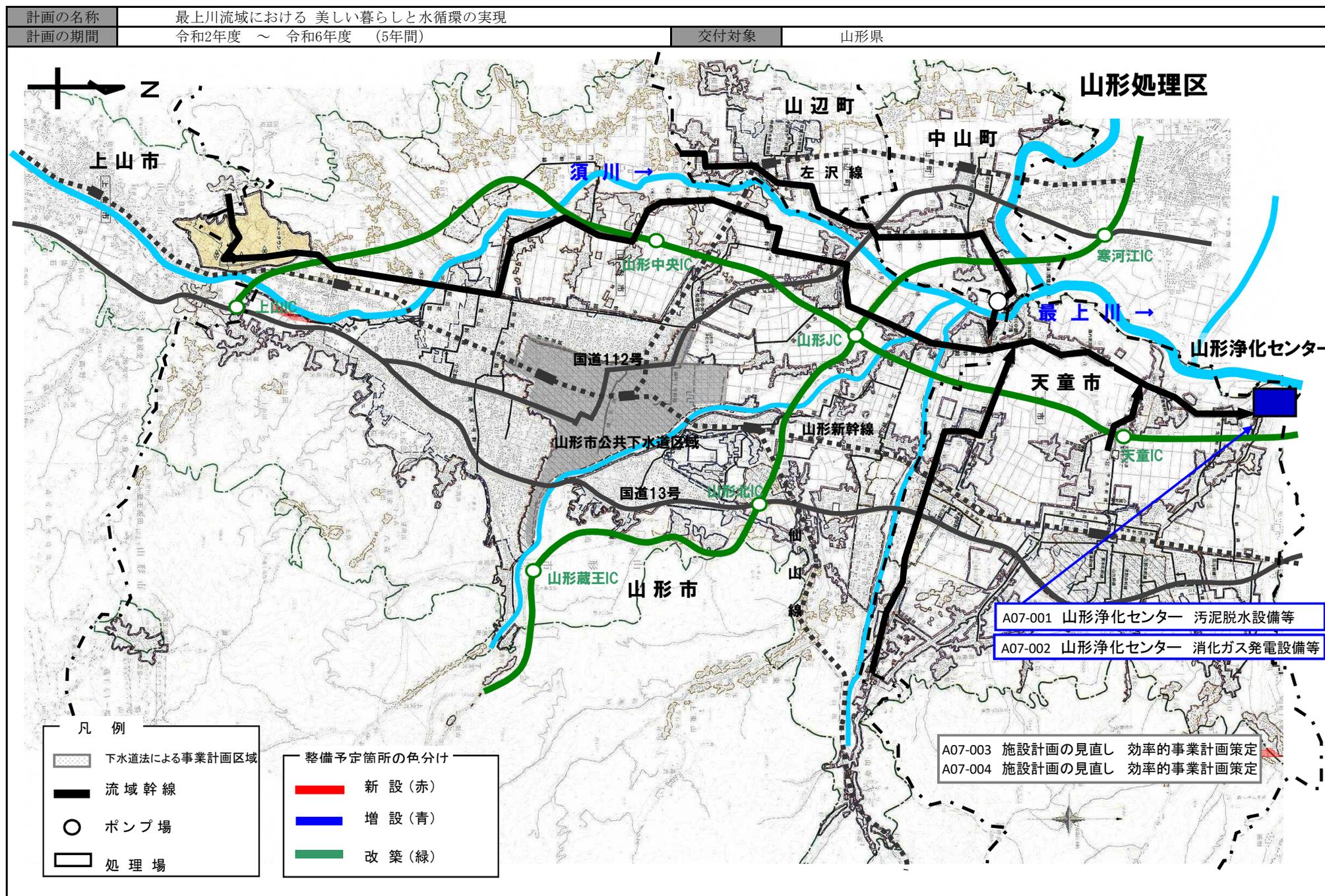
案件番号：0000149062

事前評価チェックシート

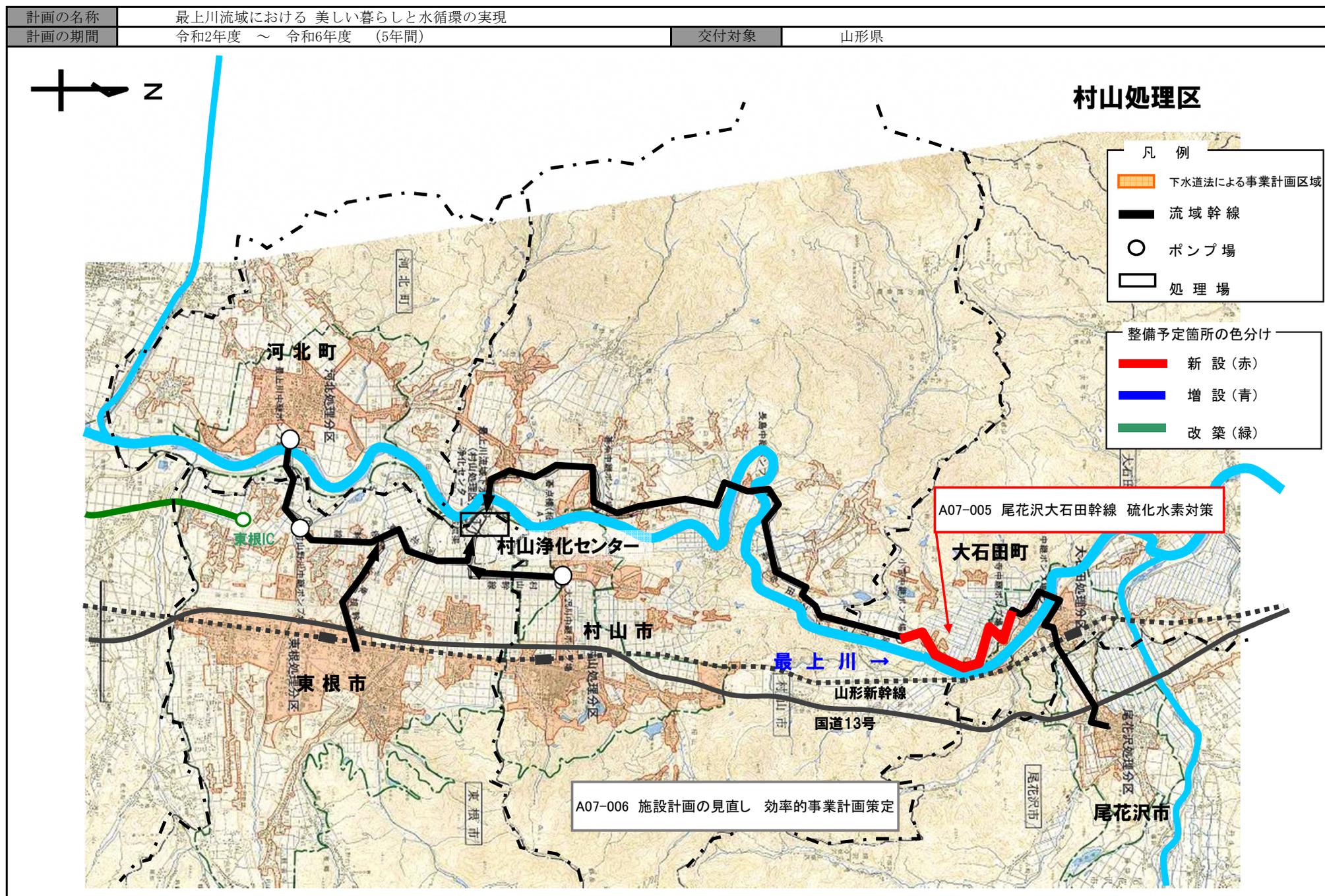
計画の名称： 最上川流域における美しい暮らしと水循環の実現

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題や下水道の課題を的確に踏まえた目標となっている。	
I. 目標の妥当性 1) 人口減少など、地域社会の変化を的確に踏まえている。	○
I. 目標の妥当性 2) 中長期的に安定した下水道の運営に向けた課題を的確に踏まえている。	○
I. 目標の妥当性 3) 低炭素社会構築への貢献など、下水道の新たな役割を的確に踏まえている。	○
II. 計画の効果・効率性 計画の目標と定量的指標及び目標値の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標が明瞭で分かりやすいものになっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている、	○
II. 計画の効果・効率性 要素事業の相乗効果等、十分な事業効果を得られることが見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 下水道運営の財政基盤（収支バランス）への影響を考慮している。	○
III. 計画の実現可能性 事業の実施に関し、関係機関との調整が行われている。	○

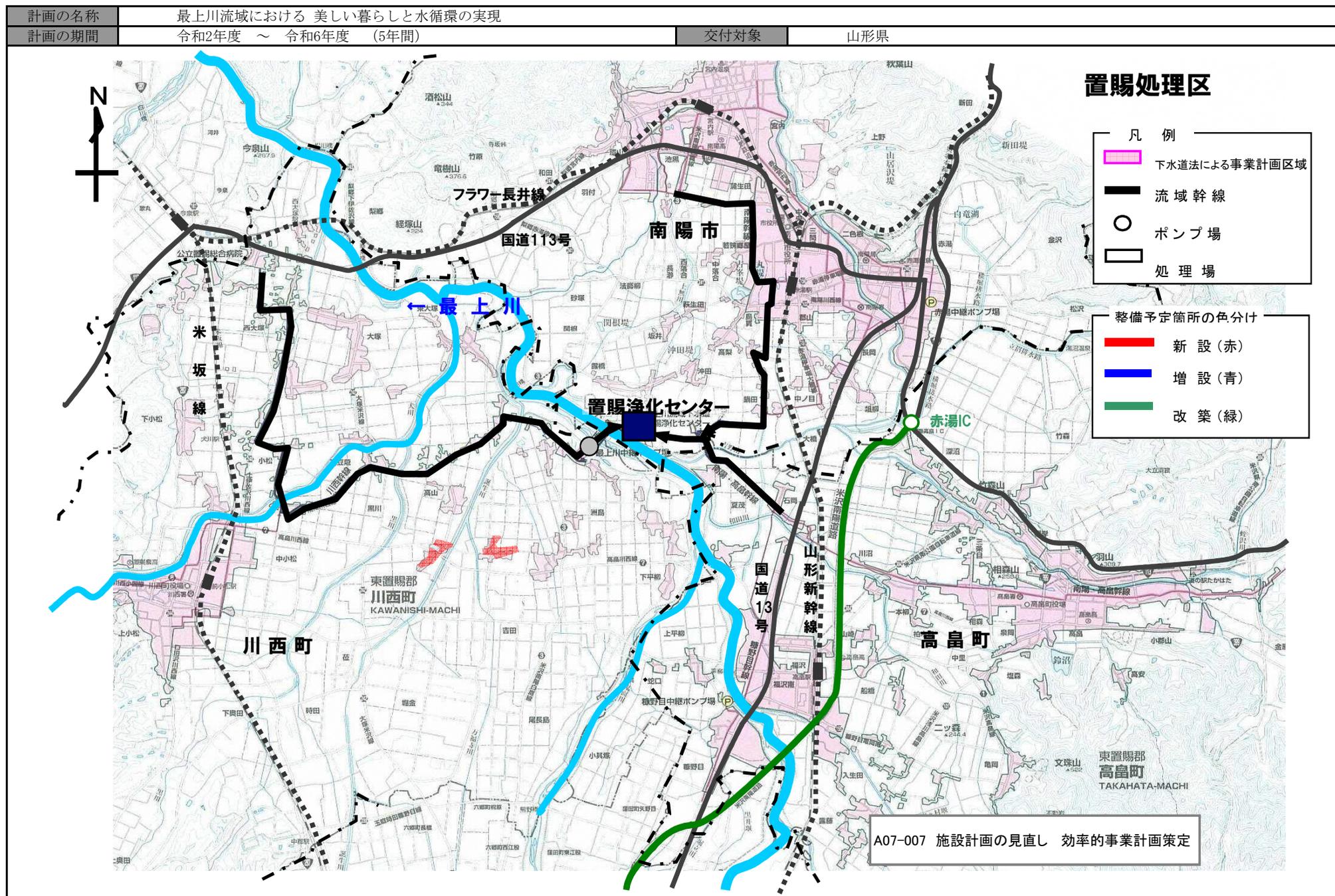
(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

